

古文 読解問題 「枕草子」はしたなきものゝ」①

はしたなきもの。^①異人をア呼ぶに、われぞとさし出でたる。物など取らすをりはいとど。おのづから人の上など打ち言ひそしりたるに、幼き子ども^②の聞き取りて、その人のイあるに言ひ出でたる。あはれなることなど、人の言ひ出で、うち泣きなどするに、げにいとあはれなりなど聞きながら、涙のつと^エ出で来ぬ、いとはしたなし。泣き顔つくり、気色異にオなせど、^③いとかひなし。めでたきことを見聞くには、まづただ出で来にぞ出で来る。

問一．「枕草子」に関する次の問題に答えなさい。

(1) 「枕草子」の作者・成立した時代を答えなさい。

(2) 「枕草子」の他の「三大随筆」の作品名とその作者を答えなさい。

問二．傍線部ア、オの動詞の活用の種類と活用形(○行○活用○形)を答えなさい。

問三．傍線部①「異人」の意味と読み方を答えなさい。

問四．傍線部②「の」と同じ用法で使われているものを次の選択肢の中から選びなさい。

- ア. はしたなきもの。異人を呼ぶに、われぞとさし出でたる。
- イ. おのづから人の上など打ち言ひそしりたるに
- ウ. 涙のつと出で来ぬ、いとはしたなし。

問五．傍線部③「いとかひなし」とあるが、その理由を三十字以内で答えなさい。

読解問題 「枕草子」はしたなきものゝ ① 解答・解説

問一、 (1) 清少納言／平安時代(中期)

(2) 徒然草・兼好法師／方丈記・鴨長明

問二、

- ① バ行四段活用・連体形
- ② ラ行変格活用・連体形
- ③ カ行四段活用・連用形
- ④ カ行変格活用・未然形
- ⑤ サ行四段活用・已然形

問三、 意味…他の人

読み方…ことびと

問四、
ウ

問五、 涙を流さねばならない時に、涙が出てこないから